

支部だより

昭和57年度九州支部講演会盛會裡に終わる

日本気象学会九州支部講演会は下記のとおり行われ、地元の大学、気象官署の会員のほか九州各地から参会した。

気象台、大学、一般の会員が一堂に会して交流できる数少ない場であるため、活発な質疑、討論がおこなわれ有意義な研究発表会となった。

なお、座長は、気象台の小柴 厚、九州大学農学部の早川誠而及び同理学部の宮原三郎の3氏が担当された。

会場設定、運営等でお世話になった九州大学関係者に感謝申し上げる。

記

1. 日 時 昭和58年2月7日 9～17時
2. 会 場 九州大学農学部防音講義室 101 号室
3. 講演題目
 1. 電離層高度極値の突然変化と梅雨入り梅雨明けの対応について
真鍋大覚・佐藤洋子(九大工)・志賀正信
 2. 奄美における入梅について(第2報)
田中貞三(名瀬測)
 3. 福岡県における短時間雨量の地域特性
平野 博・白谷靖将(福岡気)
 4. 昭和57年7月長崎豪雨の降水量分布
荒生公雄(長崎大・教)
 5. アメダスの風から求めた発散と雨量との関係について(Ⅲ)
—昭和56年6月29日と昭和57年7月23日の雨—
早川誠而・坂上 務・元田雄四郎・内 智昭(九大農)
 6. 台湾低気圧通過時の地表面付近の気温の変化
山口栄次(福岡航測)
 7. 福岡における気温の日変化と雲量の関係について
斎藤和雄(福岡航測)
 8. 長崎市におけるヒートアイランドの構造
荒生公雄・松尾治利・小田光治(長崎大・教)
 9. 大都市(東京)の温暖化と湿度の変化
関口理郎(福岡気)
 10. 炭坑の事故と地中及び地表の気温
真鍋大覚・佐藤洋子(九大工)・志賀正信
 11. 地中温度の近似式
小柴 厚(福岡気)
 12. 中緯度での低気圧の発生から消滅までの構造解析
片平宏明・瓜生道也(九大理)
 13. 火星の Diurnal Heating による平均東西風の生成
堤 之智・宮原三郎(九大理)
 14. 摩擦層内における風の分布に関する研究
富高四郎(航空大)
 15. 台風域内の境界層
田中省吾(福岡航測)
 16. 山越え排ガス拡散現象の可視化風洞実験
大場良二・中村 茂(三菱長崎研)
 17. 充実率の異なるスクリーンによる境界層の形成に関する風洞実験
西田 勝(九産大・工)
片山忠久・堤純一郎(九大・工)
石井昭夫・大町 徹(九州芸工大・芸工)
 18. 建物近傍における風の特性と通風に関する実測
(1) 実測対象地域の風の特性
石井昭夫・大町 徹(九州芸工大・芸工)
片山忠久・堤純一郎(九大・工)
 19. 建物近傍における風の特性と通風に関する実測
(2) 実測対象住棟近傍の風の特性
片山忠久・堤純一郎(九大・工)
石井昭夫・大町 徹(九州芸工大・芸工)
 20. 建物近傍における風の特性と通風に関する実測
(3) 屋上風と通風
堤純一郎・片山忠久(九大・工)
石井昭夫・大町 徹(九州芸工大・芸工)
 21. 建物近傍における風の特性と通風に関する実測
(4) 通風の温熱効果
大町 徹・石井昭夫(九州芸工大・芸工)
片山忠久・堤純一郎(九大・工)